

協議① 「子どもたちにこんな学びをさせてあげたい」

3グループの意見を「出雲崎の根っこ(郷土・自然)」と「未来への翼(スキル・交流)」の2つのテーマで整理

■出雲崎の「根」を育む(郷土愛・歴史・自然)

出雲崎ならではの資源を活かし、「自分らしさ」を形成する学び

- 歴史・文化の継承
 - 良寛さまの生き方、書、歌、慈愛の心を学ぶ(良寛学習)
 - 町の歴史(石油、北前船、伝統行事)を語れる子を育てる
 - 大祭を学校全体で盛り上げるなど、伝統文化の継承
- 自然・食との共生
 - 海・山・川のすべてが揃う環境を活かした体験
 - 町の景観(絵画・歌)を愛でる心の育成
 - 魚・米・梅などの食の価値を伝え、学校田や畑で実りを感じる
- 地域との絆
 - 「地域の人が先生」となり、高齢者を含む多世代が関わる学校
 - 大人になって「戻ってきたい」と思える郷土愛を育む

■未来への「翼」を広げる(スキル・外へのつながり)

少人数やICTを活かし、どこでも通用する「人間力」と「知力」を磨く学び

- 時代が求める知性(ICT・グローバル)
 - デジタルとアナログのハイブリッド教育
 - ネットワークや大画面を活用し、佐渡や世界とつながる交流
 - 外国語(一般会話程度)の習得と、国際人としての素養
 - 資格取得支援(例 英検・ITパスポート・防災士)の充実
- たくましく生きる力(人間力)
 - 少人数だからこそできる質の高い教育と、様々な人との対話・関わりの経験
 - 自己肯定感、粘り強さ、打たれ強さ、人間関係能力の育成
 - 大勢の中でも臆せず関われる人間性の育成
- 学びの環境デザイン
 - 好奇心を誘う「ワクワクする図書館」を学校の中心に配置
 - 北前船プロジェクトなど、学びを外へ発信する活動
 - 異年齢での教え合い(上の子が下の子を教える)環境